

令和5年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようになる。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るために、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

**令和5年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3年	学校	175	72	51	47	3.4	8.3	5.0
	大阪市	—	67	49	44	5.2	11.0	6.6
4月18日	全国	—	69.8	51.0	45.6	4.6	9.6	5.7

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	183	61.3	51.2	49.5	43.7	53.9	10.1	3.9	10.8	9.5	6.3
	大阪市	—	62.3	54.2	51.9	47.7	54.3	9.9	2.9	10.6	7.8	6.2
	大阪府	—	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2	10.3	3.1	11.2	8.7	6.5
2年	学校	184	65.0	56.4	56.3	39.9	63.2	10.2	4.8	11.4	13.5	8.1
	大阪市	—	66.7	54.0	52.2	40.6	57.2	8.2	3.7	11.2	10.4	8.6
	大阪府	—	66.8	53.4	52.2	40.2	57.2	8.3	4.0	12.0	11.3	8.9
1年	学校	176	63.1	62.3	55.2	67.1	67.3	7.8	3.6	8.5	1.5	4.2
	大阪市	—	60.6	56.0	55.4	62.2	64.1	8.7	5.2	9.1	1.9	4.3
	大阪府	—	60.8		54.7		64.1	9.6		10.3		4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
3年	学校	182	97.2	101.6	145.3	108.3
	大阪市	—	101.3	107.7	137.9	102.2

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点 (点)
			(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	
2年 男 子	学校	26.78	25.54	35.28	52.07	80.92		8.26	186.45	19.78	38.02
	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	79.05		8.05	194.78	19.88	40.79
	全国	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07		8.01	197.02	20.40	41.32
2年 女 子	学校	22.81	23.71	50.14	49.56	56.16		8.72	166.75	12.20	50.68
	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	52.11		9.03	165.29	12.10	46.99
	全国	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70		8.95	166.34	12.43	47.22

令和5年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

〈国語〉全国と比較して、特に「知識・技能」の領域においては上回っている。

〈数学〉全国と比較して「関数」の分野においては下回っている。

〈英語〉全国と比較して「聞くこと」「読むこと」の分野においては上回ったが、「話すこと」の分野においては下回っている。

○中学生チャレンジテスト(3年)

〈国語〉大阪府と比較して「すべての項目」で平均をわずかに下回っている。

〈社会〉大阪府と比較して「地理的分野」の方が歴史的分野よりも下回っている。

〈数学〉大阪府と比較して「データの活用」以外の分野は下回っている。

〈理科B〉大阪府と比較して「すべての項目」で平均を下回っている。

〈英語〉大阪府と比較して「すべての項目」で平均をわずかに下回っている。

○大阪市英語力調査(GTEC) CEFRA1レベル 56.3%(大阪市平均 54.3%)

大阪市と比較して「書くこと」「話すこと」の項目においては上回っており、「読むこと」「聞くこと」の項目においては下回っている。全体としては大阪市平均を上回ることができた。今後もC-NETを活用したコミュニケーションを取り入れた授業も活用しながら英語力の向上に努めていく。

○チャレンジテスト (1年生・2年生) チャレンジテストplus (1年生)

〔1年生〕

〈国語〉大阪府と比較してすべての項目で平均を上回っている。

〈数学〉大阪府と比較して図形の領域以外においては平均を上回っている。

〈英語〉大阪府と比較してすべての項目で平均を上回っている。

〔社会〕大阪市と比較してすべての項目で平均を上回っている。

〔理科〕大阪市と比較してすべての項目で平均を上回っている。

〔2年生〕

〈国語〉大阪府と比較して読むこと、書くこと以外のについて平均を下回っている。

〈社会〉大阪府と比較して短答式の項目以外においては平均を上回っている。

〈数学〉大阪府と比較して記述式の項目においては平均を上回っている。

〈理科〉大阪府と比較して「エネルギー」「粒子」「選択式回答」の項目で平均を上回っている。

〈英語〉大阪府と比較してすべての項目において平均を上回っている。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査について 体力合計点 女子53.0(全国50.0 大阪市49.8) 男子47.4(全国50.0 大阪市49.6) 女子
については握力、ハンドボール投げ以外の種目については全国、大阪市とも上回っている。 男子

については反復横跳び、20mシャトルランについては全国、大阪市とも上回ったが、その他の種目については下回っている。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問項目についての肯定的回答は男女(男子95.6女子79.0)とも大阪市(男子86.8女子72.4)・全国平均(男子88.9女子77.3)を上回っている。

1週間の総運動時間が60分未満の生徒については男子(22.2)が大阪市(15.9)・全国(10.9)を、女子(28.6)が全国(24.9)を上回っている。(女子大阪市は32.6)

今後も継続して前向きに運動に取り組む姿勢を保健体育課を中心に学校全体で取り組んでいきたい。

【今後に向けて】

この数年教職員の指導方法の工夫改善、保護者・地域の協力により生徒の授業態度も良く、落ち着いた環境で学校生活を送っている。これまででも基礎学力の定着には学校全体で取り組んできているが、今後も習熟度授業など生徒の理解度に応じた授業を実施していく。

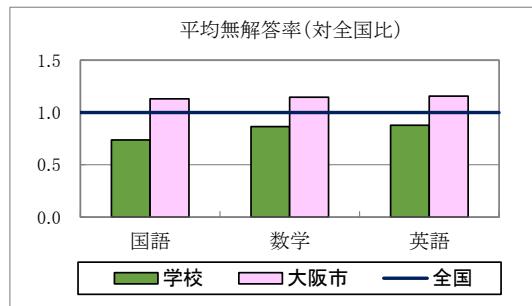
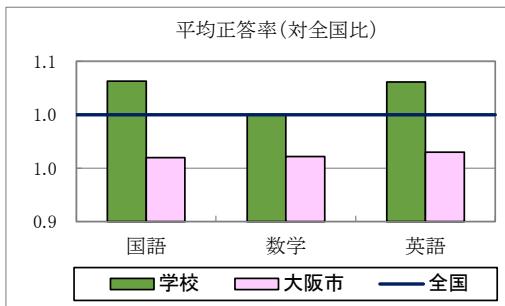
令和5年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	72	51	47
大阪市	67	49	44
全国	69.8	51.0	45.6

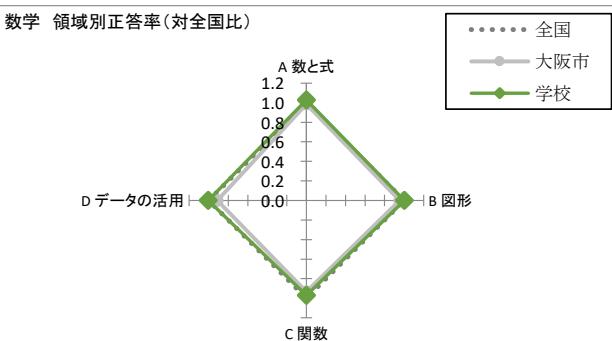
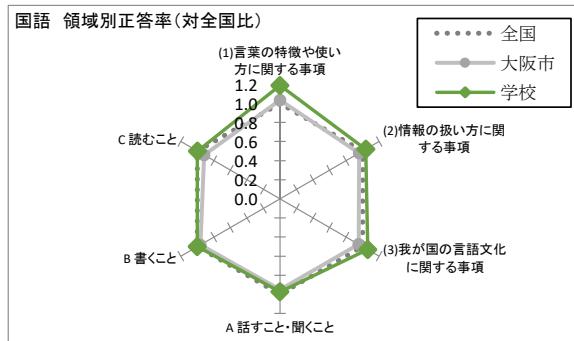
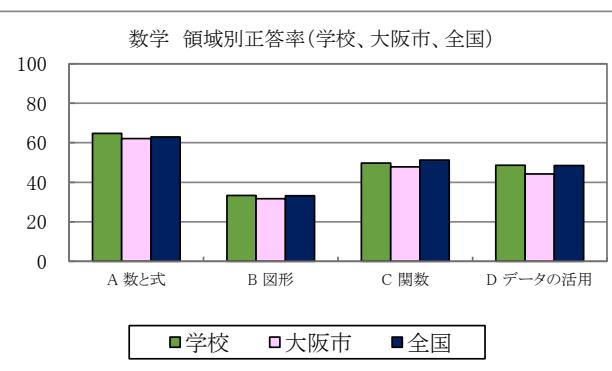
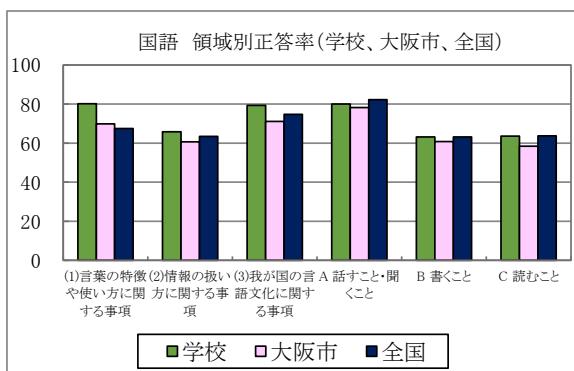
平均無解答率(%)		
国語	数学	英語
3.4	8.3	5.0
5.2	11.0	6.6
4.6	9.6	5.7



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	80.2	69.8	67.5
(2)情報の扱い方に関する事項	2	65.8	60.7	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	3	79.3	71.1	74.7
A 話すこと・聞くこと	3	80.1	78.2	82.2
B 書くこと	2	63.2	60.8	63.2
C 読むこと	4	63.6	58.5	63.7

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	64.8	62.1	63.0
B 図形	3	33.3	31.7	33.2
C 関数	4	49.7	47.8	51.2
D データの活用	3	48.7	44.2	48.5

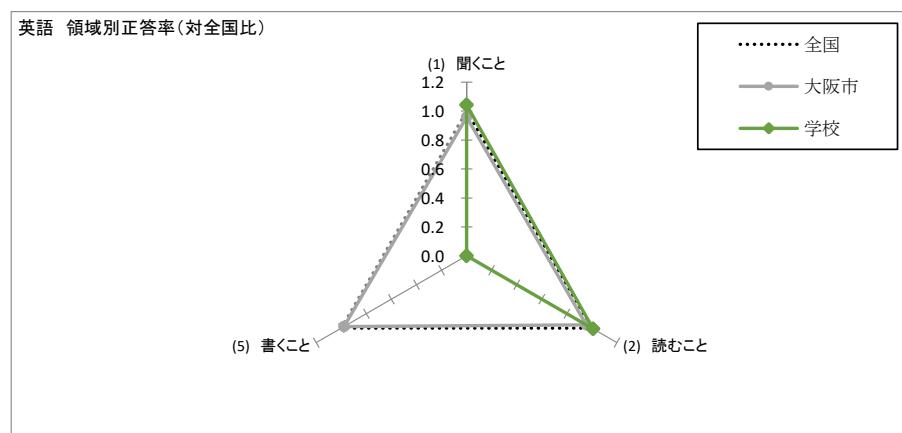
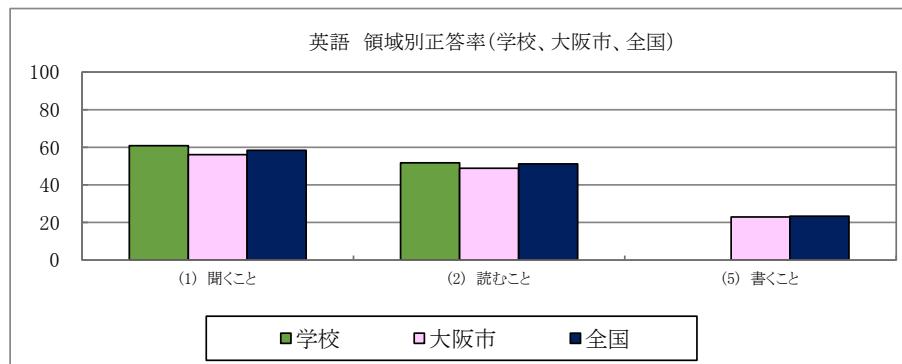


令和5年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【英 語】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1) 聞くこと	6	60.9	56.0	58.4
(2) 読むこと	6	51.7	48.9	51.2
(3) 話すこと[やり取り]	0			
(4) 話すこと[発表]	0			
(5) 書くこと	5		22.9	23.4



令和5年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

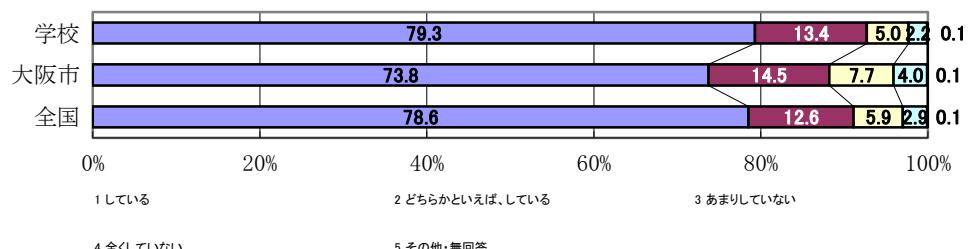
生徒質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

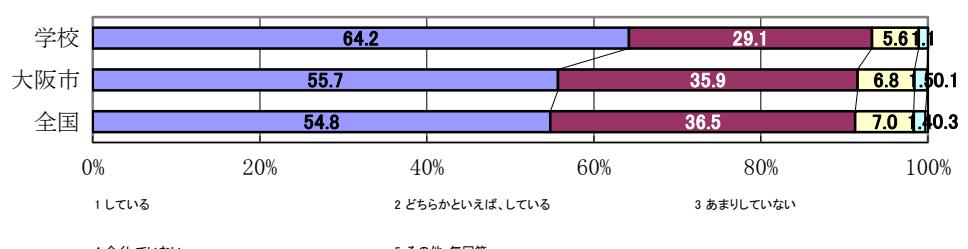
1

朝食を毎日食べている



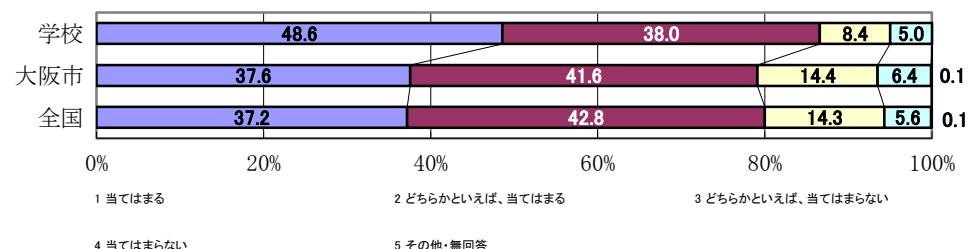
3

毎日、同じくらいの時刻に起きている



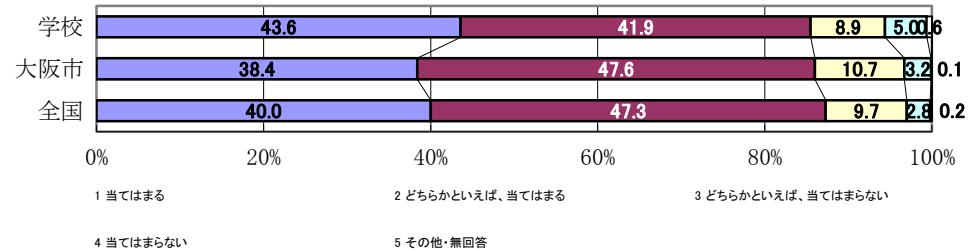
4

自分には、よいところがあると思う



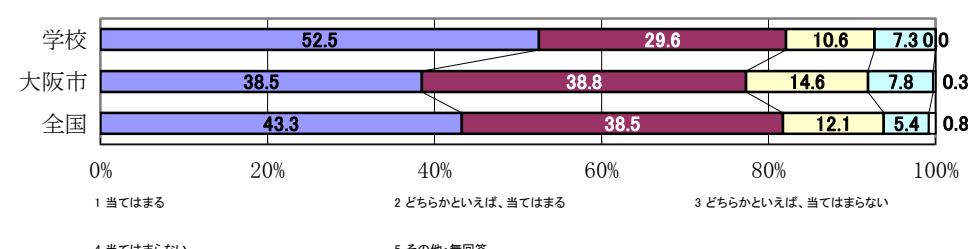
5

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



12

学校に行くのは楽しいと思う



令和5年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

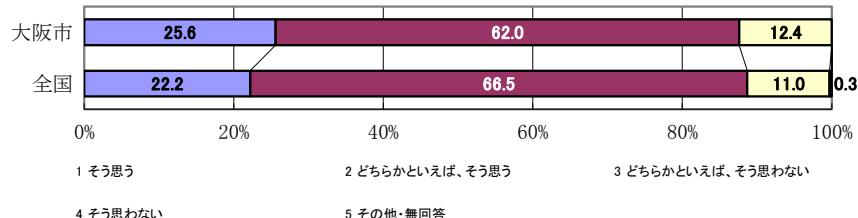
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強している

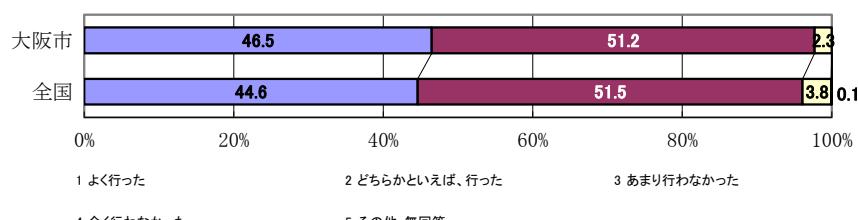
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



12

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた

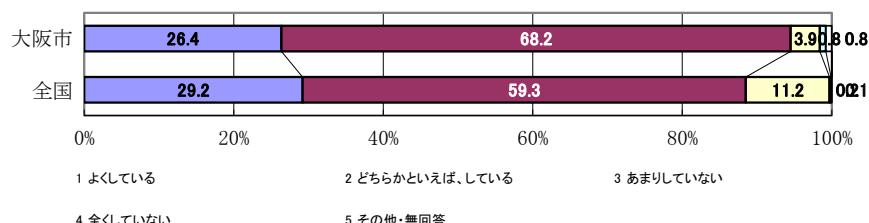
学校 「よく行った」を選択



20

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

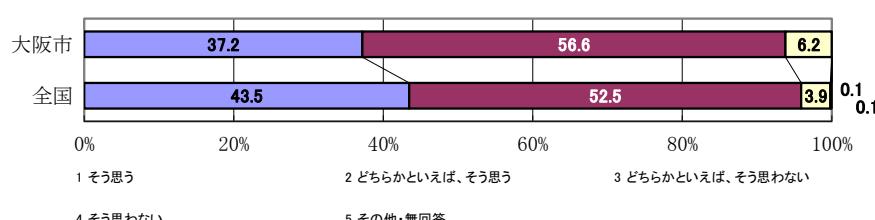
学校 「どちらかといえば、している」を選択



30

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができている

学校 「そう思う」を選択



32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している

学校 「よく行った」を選択

